

わたしたち野田市民は、日本国憲法、地方自治法の基本理念に則り、地域の個性を生かしながら、基本的人権を尊重し、平和を尊ぶ野田らしいまちづくりに懸命に努力を続けている。
日本国憲法、地方自治法施行50周年の節目の年にあたり、わたしたちは、両法の重要性を再認識するとともに、市民憲章の精神、平和祈念碑の碑文の精神を育みつつ、豊かな自然と歴史を生かした健康な文化都市を目指すために、ここに野田市を「個性豊かなまちづくりを行う人権・平和尊重都市」とすることを宣言する。
(平成9年5月5日)

放射能対策

私有地の除染もすべて終了し

市内全域で除染完了

今後測定を継続し、基準超過箇所はその都度除染

市では、国より厳しい市独自の基準で除染計画を策定し、平成24年度の完了を目指し公共施設や私有地の除染に取り組んできました。その結果、公共施設は、3月までに全施設で除染が完了し、私有地も、申請のあった千826件のうち千823件が24年度中に完了しています。このほど、残る3件の除染が終了し、市内全域の除染が完了しました。

終了し、国の基準を超えたものが15件、市の基準を超えたものが2千754件ありました。市の基準を超え、除染申請のあった千826件のうち、千823件は、24年度中に除染を完了しました。



除染申請のあった1,826件の宅地を除染

市では、平成24年3月に、国より厳しい測定高5センチメートルで毎時0・23マイクロシーベルトを基準とする市独自の「野田市放射性物質除染計画」を定め、公共施設や私有地の除染に取り組んできました。

公共施設では、子ども関連施設を優先しながら約500か所の施設で測定を行い、3月までに除染が完了しています。
今後定期的な施設の放射線量を測定し、再び市の基準値を超えた場合は、除染を行います。

千826件の宅地を除染

また、私有地の除染も順調に

進み、測定申込のあった4千771件は、24年度中に全ての測定を

の除染が完了しました。
今後も、私有地は放射線量測定器の貸し出しを継続し、市の基準を超える値が出た場合には、市で再度測定し、速やかに除染を行います。
【問合せ】環境保全課

平成25年第2回定例市議会

空き家対策の条例や

保育所の建設助成を含む補正予算などを上程

平成25年第2回定例市議会は、6月7日から26日までの会期で開催されています。今議会では、空き家対策の条例や、保育所の建設助成を含む補正予算など、16議案を上程し、審議されています。

書の報告

- ◆報告第4号 平成24年度野田市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告
- ◆報告第5号 平成24年度野田市用地取得特別会計繰越明許費繰越計算書の報告

- ◆報告第1号 平成24年度野田市一般会計繰越費繰越計算書の報告

- 市下水道事業特別会計繰越費繰越計算書の報告

- ◆報告第2号 平成24年度野田

- ◆報告第3号 平成24年度野田市一般会計繰越明許費繰越計算

- ◆報告第6号 平成24年度野田